

アマゾン EC2 インスタンスの設定

1 今回の授業の目的

- アマゾン EC2 のインスタンスを立ち上げかたを学習します。
- Windows からアマゾン EC2 のインスタンスに接続するために、Putty をインストールします。
- Putty を使ってアマゾン EC2 インスタンスへ接続する方法を学びます。
- Windows からアマゾン EC2 のインスタンスへファイル転送を行うために、WinSCP をインストールします。
- WinSCP を使ってアマゾン EC2 インスタンスへファイルを転送する方法を学びます。
- アマゾン EC2 のインスタンスを停止方法を学習します。
- アマゾン EC2 からサインアウトする方法を学習します。

2 EC2 インスタンスの設定

2.1 ログイン

<https://aws.amazon.com/jp/ec2/>



すでにアカウントがある場合

ここをクリック

AWS アカウント作成の流れ <https://aws.amazon.com/jp/register-flow/> を参考に、AWS のアカウントを作成します。

あるいは、すでにアカウントがある場合には、コンソールからログインします。

※今回の授業では、ID とパスワードは課題提出フォルダにあります。確認の上、ログインして下さい。

https://aws.amazon.com/jp/ec2/



サインイン ⓘ

AWS アカウントの E メールアドレス

IAM ユーザーとしてサインインするには、
アカウント ID または [アカウントエイリアス](#) を入力してください。

次へ

——— AWS のご利用は初めてですか? ———

新しい AWS アカウントの作成

ID(メールアドレス)
を入力し、「次へ (ま
たは Next)」を押しま
す。

E メール

ken@nakatani.jp

パスワード

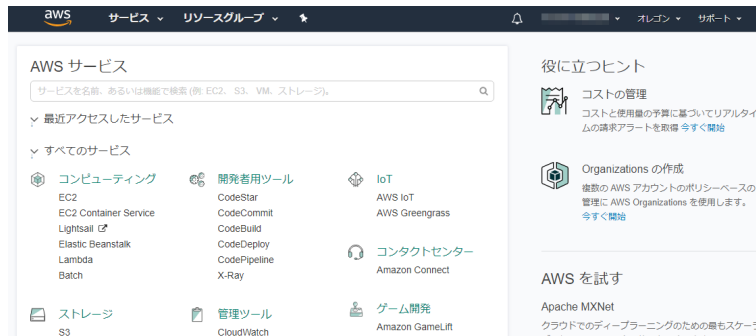
サインイン

[別のアカウントにサインインする](#)

[パスワードをお忘れですか?](#)

パスワードを入力し、
「サインイン」を押
します。

サインインが終わったら、「AWS マネジメントコンソール」へ移動します。メニューの「アカウント」から「AWS マネジメントコンソール」を選択すると移動します。



AWS マネジメントコンソールの様子

2.2 リージョンの選択

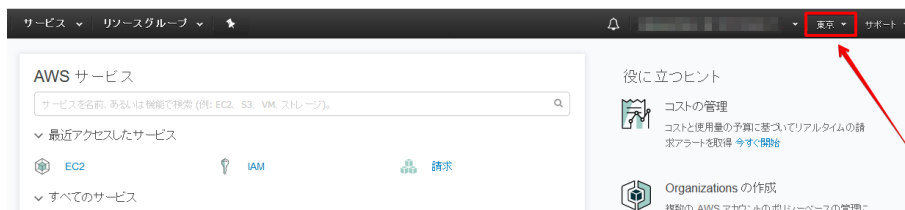
利用するサーバのリージョンを選択します。利用するリージョンは、授業の際の指示に従って下さい。

オレゴン



クリック

東京



クリック

2.3 インスタンスの作成

EC2 インスタンスを作成します。今回は、GPU 付きのインスタンスを作成します。

AWS サービス



EC2 サービスを選択します

リソース

米国西部 (オレゴン) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています:

- 0 個の実行中のインスタンス
- 0 個の Elastic IP
- 0 個の Dedicated Host
- 0 個のスナップショット
- 0 個のボリューム
- 0 個のロードバランサー
- 0 個のキーペア
- 1 個のセキュリティグループ
- 0 個のプレースメントグループ

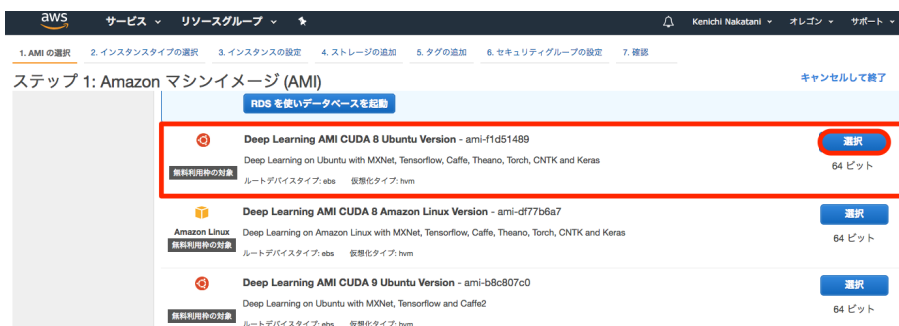
インスタンスの作成ボタンをし押します

シンプルな仮想プライベートサーバーが必要ですか? プロジェクトを開始するために必要なすべて (コンピューティング、ストレージ、ネットワーキング) を予測可能な低価格で入手できます。Amazon Lightsail を無料で試す。

インスタンスの作成

Amazon EC2 の使用を開始するには、Amazon EC2 インスタンスと呼ばれる仮想サーバーを作成します。

インスタンスの作成



「Deep Learning AMI CUDA 8 Ubuntu」を選択します

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 2: インスタンスタイプの選択

AMI	GPU	インスタンスタイプ	vCPU	メモリ (GiB)	ストレージ	ネットワーク	最大ネットワークパフォーマンス
<input type="checkbox"/>	GPU graphics	g3.xlarge	32	244	EBS のみ	はい	10 ギガビット
<input type="checkbox"/>	GPU graphics	g3.16xlarge	64	488	EBS のみ	はい	25 GigaBit
<input type="checkbox"/>	GPU インスタンス	g2.2xlarge	8	15	1 x 60 (SSD)	はい	高い
<input type="checkbox"/>	GPU インスタンス	g2.8xlarge	32	60	2 x 120 (SSD)	-	10 ギガビット
<input checked="" type="checkbox"/>	GPU コンピューティング	p2.xlarge	4	61	EBS のみ	はい	高い
<input type="checkbox"/>	GPU コンピューティング	p2.8xlarge	32	488	EBS のみ	はい	10 ギガビット
<input type="checkbox"/>	GPU コンピューティング	p2.16xlarge	64	732	EBS のみ	はい	25 GigaBit
<input type="checkbox"/>	GPU コンピューティング	p3.2xlarge	8	61	EBS のみ	はい	最大 10 ギガビット

キャンセル 戻る 確認と作成 次の手順: インスタンスの詳細の設定

GPU コンピューティングのうち、「p2.xlarge」を選択して、「インスタンスの詳細の設定」ボタンを押します

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 3: インスタンスの詳細の設定

要件に合わせてインスタンスを設定します。同じ AMI から複数のインスタンス作成や、より低料金を実現するためのスポットインスタンスのリクエスト、インスタンスへのアクセス管理ロール割り当てなどを行うことができます。

インスタンス数 ① 1 Auto Scaling グループに作成する ①

購入オプション ① ☐ スポットインスタンスのリクエスト

ネットワーク ① vpc-f96ec69f (デフォルト) ② C 新しい VPC の作成

サブネット ① 優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルト) ② ③ 新しいサブネットの作成

自動割り当てパブリック IP ① サブネット設定を使用 (有効) ②

配置グループ ① プレースメントグループなし ②

IAM ロール ① なし ② C 新しい IAM ロールの作成

キャンセル 戻る 確認と作成 次の手順: ストレージの追加

「ストレージの追加」ボタンを押します

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 4: ストレージの追加

インスタンスは次のストレージデバイス設定を使用して作成されます。インスタンスに追加の EBS ボリュームやインスタンスストアボリュームをアタッチするか、ルートボリュームの設定を編集することができます。また、インスタンスを作成してから追加の EBS ボリュームをアタッチすることもできますが、インスタンスストアボリュームはアタッチできません。Amazon EC2 のストレージオプションに関する [詳細](#)。

ボリュームタイプ	デバイス	スナップショット	サイズ (GiB) ①	ボリュームタイプ	IOPS	スループット (MB/秒) ①	合わせて削除	暗号化済み
ルート	/dev/sda1	snap-0ddba411360e7e4e1	100	汎用 SSD (GP2)	300 / 3000	該当なし	<input checked="" type="checkbox"/>	暗号化なし

新しいボリュームの追加

①

無料利用枠の対象であるお客様は 30 GB までの EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックストレージを取得できます。無料利用枠の対象と使用制限に関する [詳細はこちら](#)。

②

キャンセル 戻る 確認と作成 次の手順: タグの追加

①サイズを「100GiB」に変更します。②「確認と作成」ボタンを押します

aws サービス リソースグループ

Kenichi Nakatani オレゴン サポート

1. AMI の選択 2. インスタンスタイプの選択 3. インスタンスの設定 4. ストレージの追加 5. タグの追加 6. セキュリティグループの設定 7. 確認

ステップ 7: インスタンス作成の確認

インスタンスの作成に関する詳細を確認してください。各セクションで変更の編集に戻ることができます。(作成) をクリックして、インスタンスにキーペアを割り当て、作成処理を完了します。

⚠ お客様のインスタンス設定は無料利用枠の対象ではありません

無料利用枠の対象であるインスタンスを作成するには、選択している AMI、インスタンスタイプ、設定オプション、ストレージデバイスをチェックします。無料利用枠の対象と使用制限に関する詳細情報をご覧ください。

今後はこれを表示しない AMI の編集

▼ AMI の詳細

Deep Learning AMI CUDA 8 Ubuntu Version - ami-f1d51469

無料利用枠の対象 Deep Learning on Ubuntu with MXNet, Tensorflow, Caffe, Theano, Torch, CNTK and Keras

ルートデバイスタイプ: ebs 仮想化タイプ: hvm

▼ インスタンスタイプ

インスタンスタイプの編集

インスタンスタイプ	ECU	vCPU	メモリ (GiB)	インスタンスストレージ (GB)	EBS 最適化利用	ネットワークパフォーマンス

キャンセル 戻る 作成

「作成」ボタンを押します

起動には、キーペアが必要です。起動のための新しいキーペアを作成します。

既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。 ✕

キーペアは、AWS が保存するパブリックキーとユーザーが保存するプライベートキーファイルで構成されます。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に接続できます。Windows AMI の場合、プライベートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用されるパスワードを取得するために必要です。Linux AMI の場合、プライベートキーファイルを使用してインスタンスに SSH で安全に接続できます。

注: 選択したキーペアは、このインスタンスに対して権限がある一連のキーに追加されます。パブリック AMI から既存のキーペアを削除するの詳細情報をご覧ください。

新しいキーペアの作成

キーペア名

my-gpu-key-pair

キーペアのダウンロード

… 続行するには、事前にプライベートキーファイル (*.pem ファイル) をダウンロードする必要があります。それを、安全でアクセス可能な場所に保存します。一度作成されると、ファイルを再度ダウンロードすることはできなくなります。

キャンセル インスタンスの作成

- ①「新しいキーペアの作成」を選択します。
- ②任意のキーペア名（例：my-key-pair）を入力します。
- ③「キーペアのダウンロード」を押します。

my-gpu-key-pair.pem を開く

次のファイルを開こうとしています:

ファイルの種類: Text Document

ファイルの場所:

このファイルをどのように処理するか選んでください

☐ プログラムで開く(O): メモ帳 (既定)

☒ ファイルを保存する(S)

☐ 今後この種類のファイルは同様に処理する(A)

OK キャンセル

「OK」ボタンを押します。

※ダウンロードしたキーペアは、インスタンスへのログインに必要となります。大切に保管して下さい。また、後で必要となりますので、パソコン内の保存場所を必ず確認して下さい。

起動には、キーペアが必要です。起動のための新しいキーペアを作成します。

既存のキーペアを選択するか、新しいキーペアを作成します。

キーペアは、AWS が保存するパブリックキーとユーザーが保存するプライベートキーファイルで構成されます。組み合わせて使用することで、インスタンスに安全に接続できます。Windows AMI の場合、プライベートキーファイルは、インスタンスへのログインに使用されるパスワードを取得するために必要です。Linux AMI の場合、プライベートキーファイルを使用してインスタンスに SSH で安全に接続できます。

注: 選択したキーペアは、このインスタンスに対して権限がある一連のキーに追加されます。パブリック AMI から既存のキーペアを削除するの詳細情報をご覧ください。

既存のキーペアの選択

キーペアの選択

key-pair

☒ 選択したプライベートキーファイル (my-gpu-key-pair.pem) へのアクセス権があり、このファイルなしではインスタンスにログインできないことを認識しています。

キャンセル

インスタンスの作成

①「既存のキーペアの選択」を選択します。

②作成したキーペア名を選択します。

③チェックを入れます。

④「インスタンスの作成」を押します。

作成ステータス

✓ インスタンスは現在作成中です
次のインスタンスの作成が開始されました: i-0e2b4458370721998 作成ログの表示

インスタンスを作成中です

作成ステータス

インスタンスへの接続方法

インスタンスは作成中です。実行中状態になり、使用する準備ができるまでに数分かかることがあります。新しいインスタンスの使用時間は、すぐに始まり、インスタンスを停止または削除するまで続きます。

[インスタンスの表示] をクリックして、インスタンスのステータスを監視します。インスタンスが一度実行中状態になれば、[インスタンス] 画面から接続できます。インスタンスへの接続方法の詳細はこちら。

▼ ここには、作業を始めるのに役立つリソースがあります

- Linux インスタンスへの接続方法
- Amazon EC2: ユーザーガイド
- AWS 無料利用枠の詳細
- Amazon EC2: ディスカッションフォーラム

インスタンスの作成中、次のことも行うことができます

- ステータスチェックアラームの作成 これらのインスタンスがステータスチェックに合格しなかったときは通知が送信されます。(追加料金がかかる場合があります)
- 追加の EBS ボリュームを作成してアタッチする (追加料金がかかる場合があります)
- セキュリティグループの管理

「インスタンスの表示」をクリックします

インスタンスの表示



起動するインスタンスを選択して、「接続」をクリックします

インスタンスへの接続

×

接続先

☒ スタンドアロン SSH クライアント
☐ ブラウザから直接接続の Java SSH クライアント (Java が必要となります)

インスタンスにアクセスするには:

- SSH クライアントを開きます。 **PuTTYを使用した接続**の方法を確認)
- プライベート キーファイル (my-key-pair.pem) を見つけます。ウィザードが、インスタンスを作成するために使用するキーを自動的に検出します。
- SSH が機能するには、キーが公開されていない必要があります。必要な場合は次のコマンドを使用します。

```
chmod 400 my-key-pair.pem
```
- インスタンスに接続するには、パブリック DNS を使用します。

```
ec2-35-164-123-134.us-west-2.compute.amazonaws.com
```

例:

```
ssh -i "my-key-pair.pem" ubuntu@ec2-35-164-123-134.us-west-2.compute.amazonaws.com
```

ほとんどの場合、上のユーザー名は正確ですが、AMI の使用方法を読んで AMI 所有者がデフォルト AMI ユーザー名を変更していないことを確認してください。

インスタンスへの接続に関してアシスタンスが必要な場合は、[接続ドキュメント](#)を参照してください。

閉じる

①「接続先」として「スタンドアロン SSH クライアント」を選択します。
②「PuTTY を使用した接続」をクリックします。

3 PuTTY の設定

https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/AWSEC2/latest/UserGuide/putty.html?icmpid=docs_ec2_console

8

3.1 PuTTY のインストール

前提条件

PuTTYを使用してLinux-インスタンスに接続する前に、以下の前提条件を満たしていることを確認してください。

- PuTTY のインストール

PuTTY のダウンロードページから、PuTTYをダウンロードしてインストールします。すでにインストールされている旧バージョンのPuTTYがある場合は、最新バージョンをダウンロードすることをお勧めします。必ずスイート全体をインストールします。

「PuTTY のダウンロードページ」をクリックします

PuTTY: a free SSH and Telnet client

Home | [FAQ](#) | [Feedback](#) | [Licence](#) | [Updates](#) | [Mirrors](#) | [Keys](#) | [Links](#) | [Team](#)
Download: [Stable](#) | [Snapshot](#) | [Docs](#) | [Changes](#) | [Wishlist](#)

PuTTY is a free implementation of SSH and Telnet for Windows and Unix platforms, along with an ~~ancient~~ terminal emulator. It is written and maintained primarily by [Simon Tatham](#).

The latest version is 0.70 [Download it here](#).

LEGAL WARNING: Use of PuTTY, PSCP, PSFTP and Plink is illegal in countries where encryption is outlawed. We believe it is legal to use PuTTY, PSCP, PSFTP and Plink in England and Wales and in many other countries, but we are not lawyers, and so if in doubt you should seek legal advice before downloading it. You may find useful information at [cryptolaw.org](#), which collects information on cryptography laws in many countries, but we can't vouch for its correctness.

Use of the Telnet-only binary (PuTTYtel) is unrestricted by any cryptography laws.

「Download it here」をクリックします

Download PuTTY: latest release (0.70)

Home | [FAQ](#) | [Feedback](#) | [Licence](#) | [Updates](#) | [Mirrors](#) | [Keys](#) | [Links](#) | [Team](#)
Download: [Stable](#) | [Snapshot](#) | [Docs](#) | [Changes](#) | [Wishlist](#)

This page contains download links for the latest released version of PuTTY. Currently this is 0.70, released on 2017-07-08.

When new releases come out, this page will update to contain the latest, so this is a good page to bookmark or link to. Alternatively, here is a [permanent link to the 0.70 release](#).

Release versions of PuTTY are versions we think are reasonably likely to work well. However, they are often not the most up-to-date version of the code available. If you have a problem with this release, then it might be worth trying out the [development snapshots](#), to see if the problem has already been fixed in those versions.

Package files

You probably want one of these. They include all the PuTTY utilities.

(Not sure whether you want the 32-bit or the 64-bit version? Read the [FAQ entry](#).)

MSI ("Windows Installer")

32-bit: [putty-0.70-installer.msi](#) (or by FTP) (signature)

64-bit: [putty-64bit-0.70-installer.msi](#) (or by FTP) (signature)

Unix source archive

.tar.gz: [putty-0.70.tar.gz](#) (or by FTP) (signature)

「Windows Installer」の「64-bit」版をクリックします

putty-64bit-0.70-installer.msi を開く

次のファイルを開こうとしています:



putty-64bit-0.70-installer.msi

ファイルの種類: Windows Installer Package (2.9 MB)

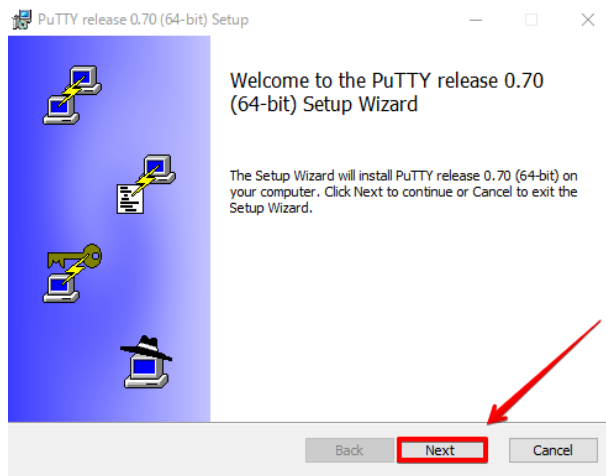
ファイルの場所: https://the.earth.li

このファイルを保存しますか？

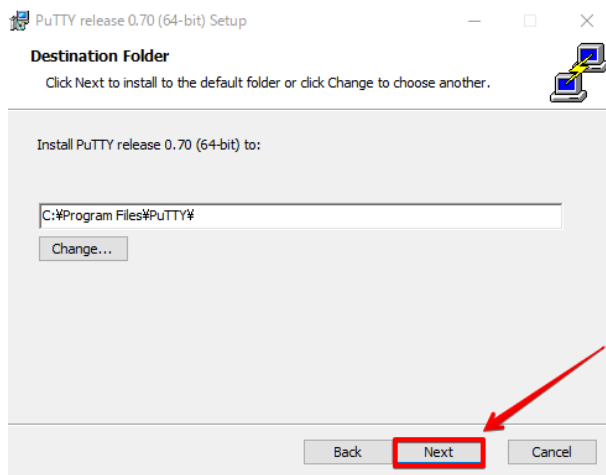
ファイルを保存

キャンセル

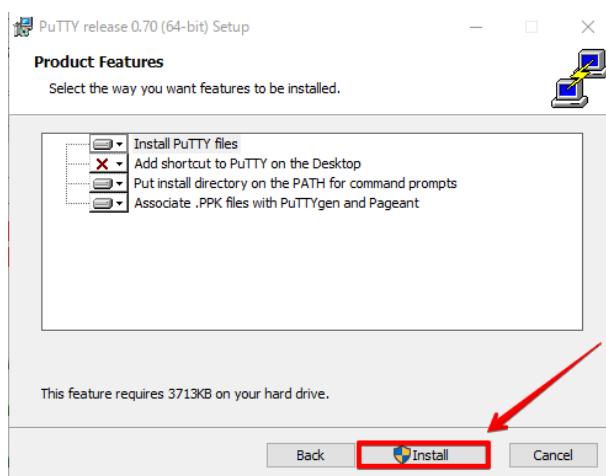
「ファイルを保存」をクリックします



- ①保存したファイルをダブルクリックします。
- ②「Next」をクリックします。



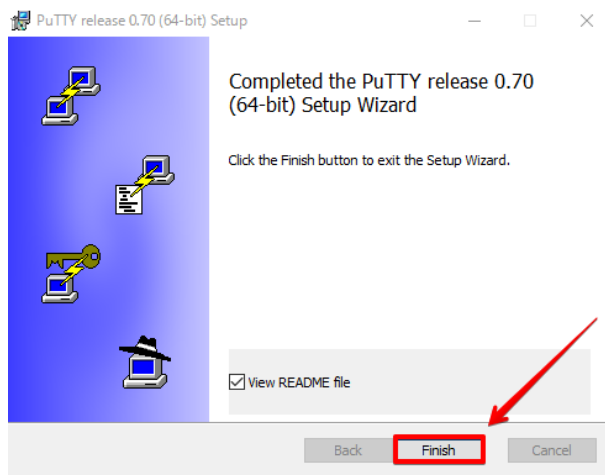
「Next」をクリックします



「Install」をクリックします



「はい」をクリックします。

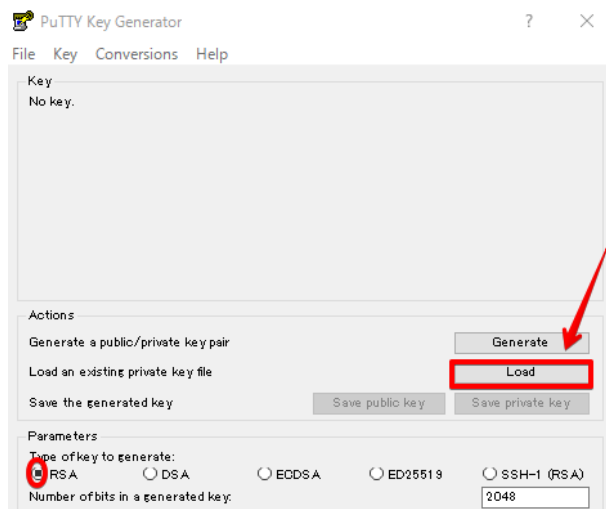


「Finish」をクリックします。

3.2 PuTTYgen を使用した秘密キーの変換

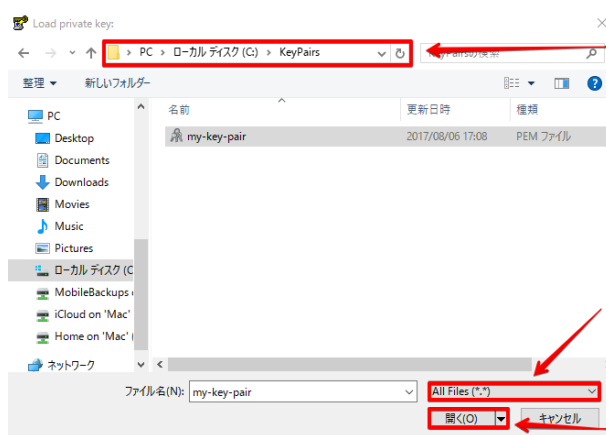
アマゾン EC2 でダウンロードしたキーペア（.pem ファイル）を、PuTTY や WinSCP で利用できる .ppk ファイルへ変換します。

スタートメニューから [All Programs]-[PuTTY]-[PuTTYgen] を選択し、PuTTYgen を開始します。



①「Parameters」で RSA 2048bit を選択します。

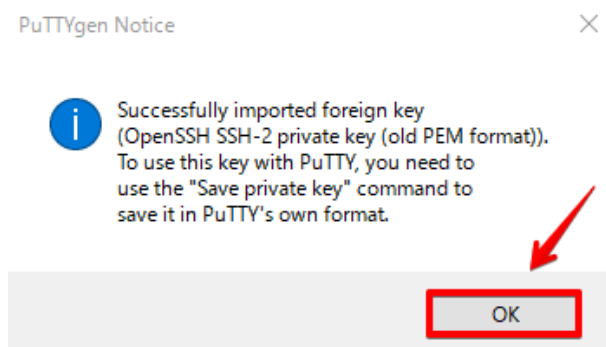
②「Load」をクリックします。



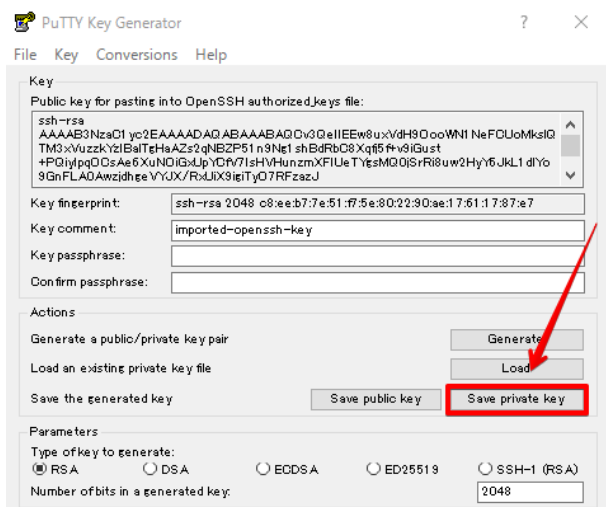
①表示する拡張子を「All Files」とします。

②ダウンロードしたキーペアを選択します。

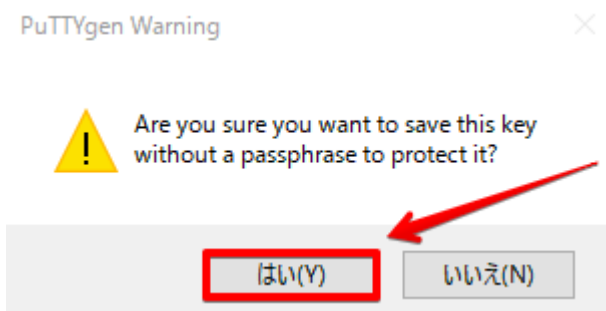
③「開く」をクリックします。



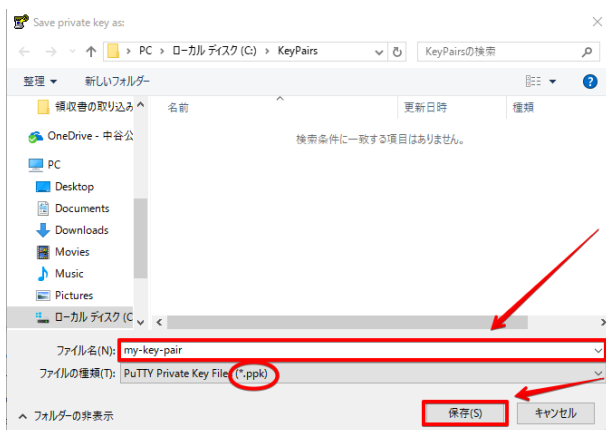
「OK」をクリックします。



「Save private key」をクリックします。



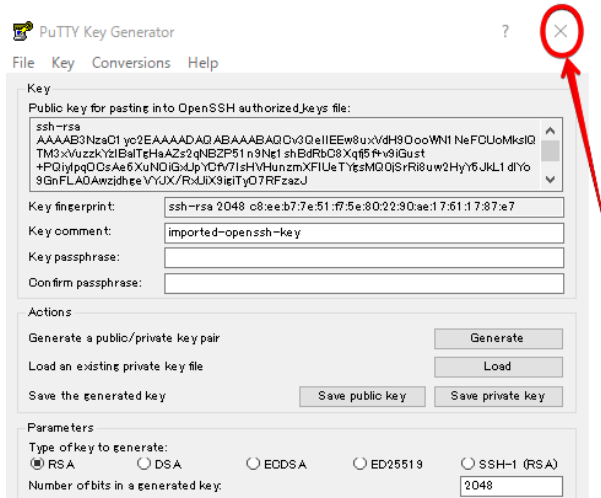
「はい」をクリックします。



①ファイル名を確認します。空欄の場合はキーペア名（例：my-key-pair）を入力します。

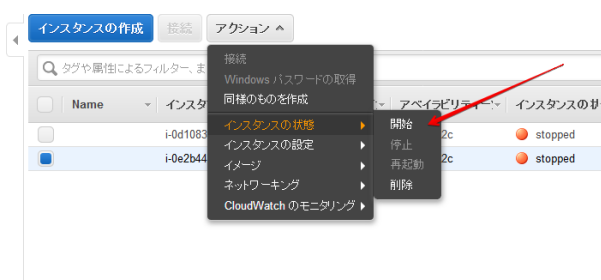
②ファイルの種類を確認します。

③「保存」ボタンを押します。

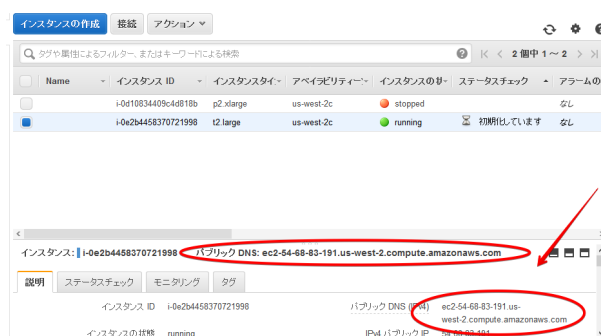


ファイルの保存が完了したら、画面を閉じます

3.3 PuTTY セッションの開始

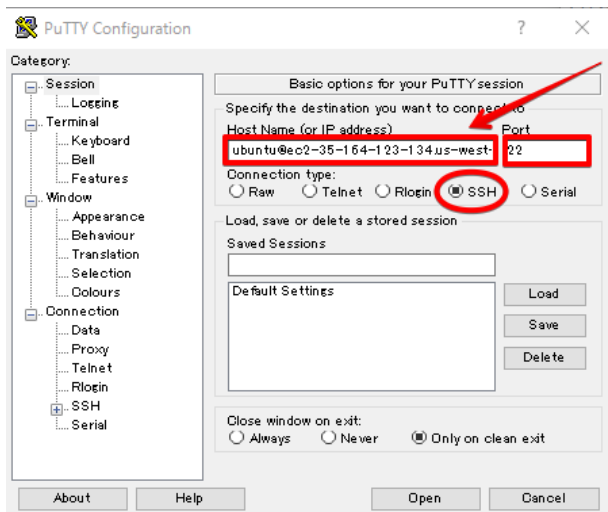


インスタンスが立ち上がっていない場合、「アクション」から「インスタンスの状態/開始」を選択し、インスタンスを立ち上げます。

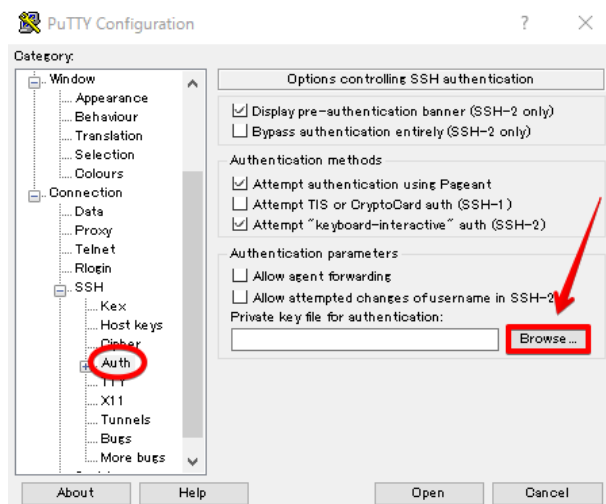


インスタンスの状態が「running」になったら、インスタンスの「パブリック DNS」を確認します。パブリック DNS を選択してコピーしておくで後でパブリック DNS を入力する際に楽です。

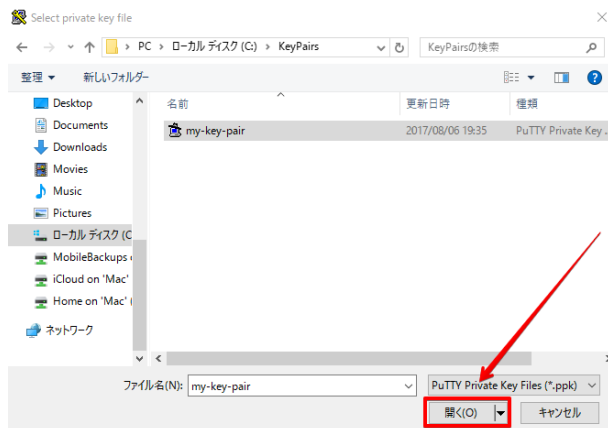
[スタート] メニューで [All Programs]-[PuTTY]-[PuTTY] を選択し、PuTTY を開始します。



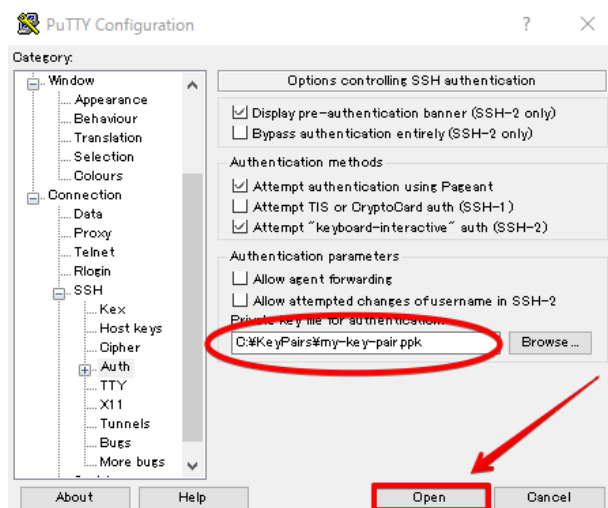
- ① 「Host Name」に「ubuntu@(パブリック DNS)」を入力します。
- ② 「Connection Type」を「SSH」とします。
- ③ 「Port」が「22」となっていることを確認します。



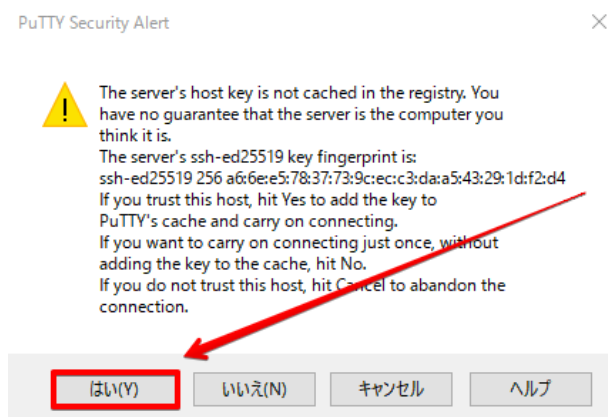
- ① [Category] ペインで、[Connection]、[SSH] の順に展開し、[Auth] を選択します。
- ② 「Browse」をクリックします。



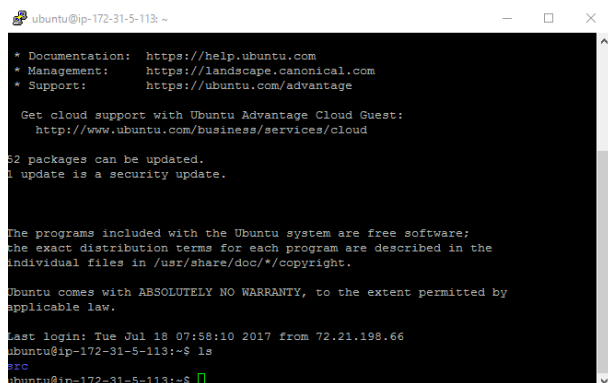
- ①先ほど保存した ppk ファイルを選択します。
- ②「開く」を押します。



- ①選択した ppk ファイルのパスが入力されていることを確認します。
- ②「Open」を押します。

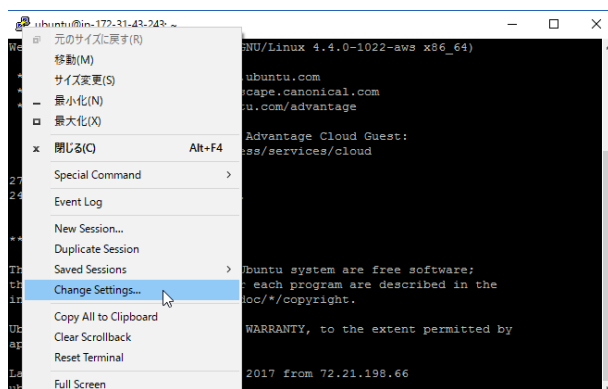


- 「はい (Y)」を押します。

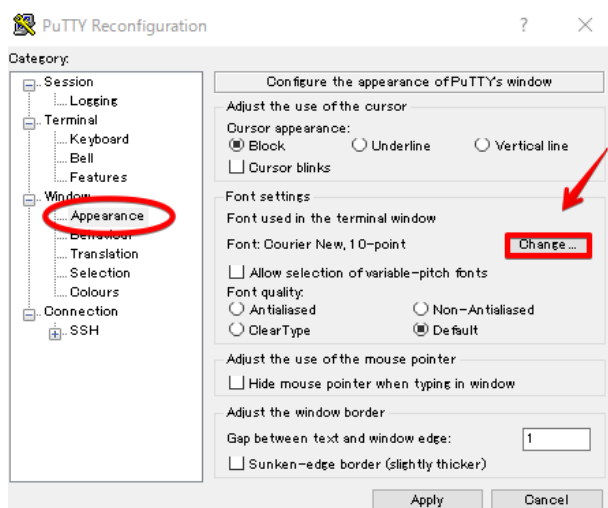


SSH クライアントでインスタンスに接続しました

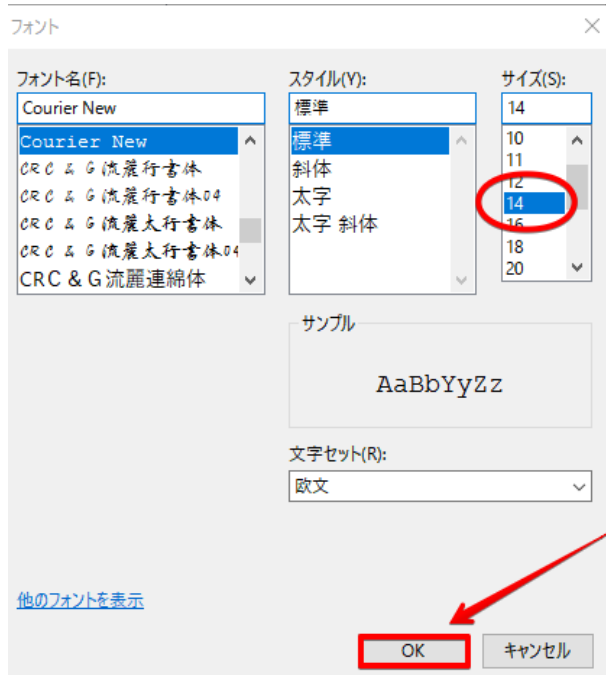
3.4 フォントサイズの変更



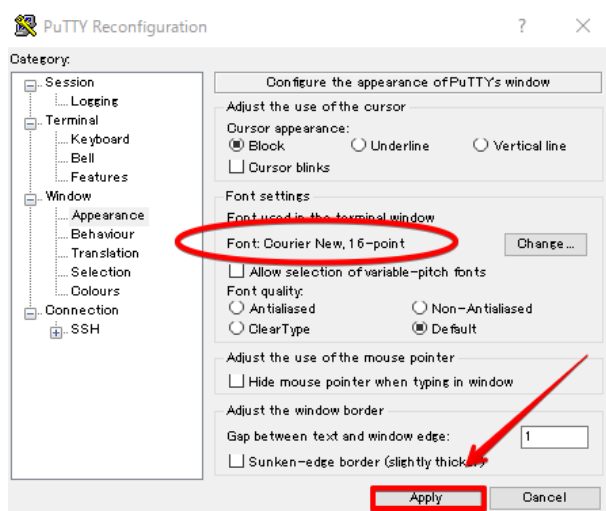
ターミナルの左上をクリックするとメニューが表示されます。「Change Settings」を選択します。



- ① 「Appearance」を選択します。
- ② 「Change」ボタンを押します。

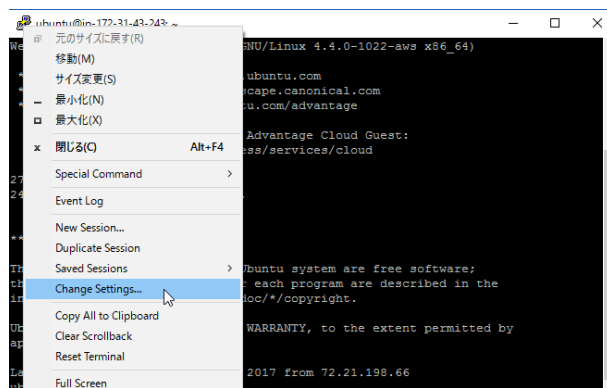


- ① フォントのサイズを変更します。
- ② 「OK」 ボタンを押します。

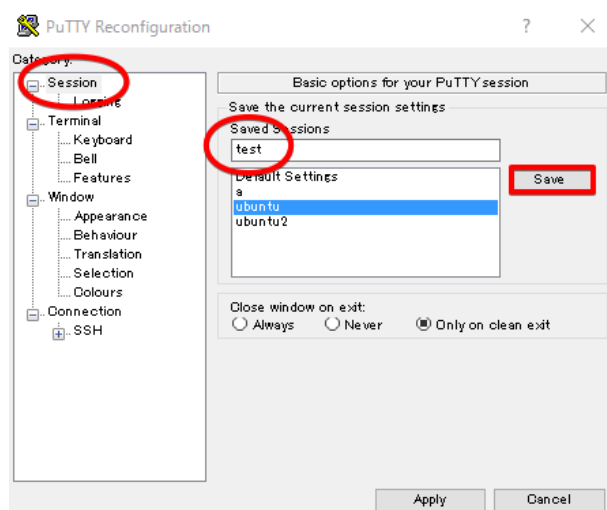


- ① フォントのサイズを確認します。
 - ② 「Apply」 ボタンを押します。
- 以上で、ターミナルのフォントのサイズが変更されます。見やすい大きさに設定しましょう。

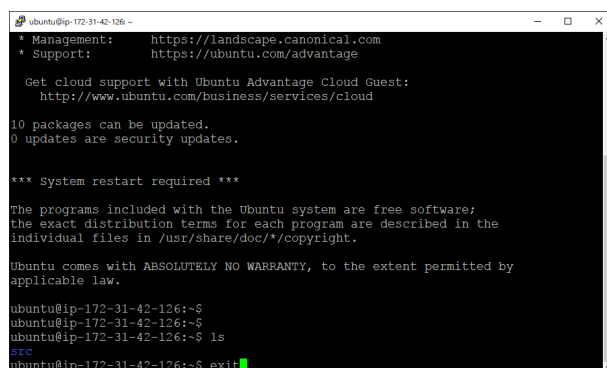
3.5 セッションの保存



ターミナルの左上をクリックするとメニューが表示されます。「Change Settings」を選択します。



「Saved Sessions」に今回のセッションの名前を入れて、「Save」ボタンを押すと、セッションの設定が保存され、下のボックスの中にセッションの名前が表示されます。次回、起動したときに最初の画面でセッション名を選択して、「Load」を押すとセッションの設定が読み込まれます。よく使う設定は保存しておく便利です。



コンソールを閉じるときは、「exit」と入力し、改行します。

PuTTY の画面の右上の閉じるボタンを押して PuTTY を終了します。

4 WinSCP を使用した Linux インスタンスへのファイルの転送

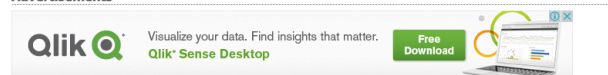
4.1 WinSCP のインストール

<http://winscp.net/eng/download.php>

WinSCP Downloads

[\[Download WinSCP\]](#) [\[WinSCP Release Notification\]](#) [\[Download PuTTY\]](#)

Advertisements



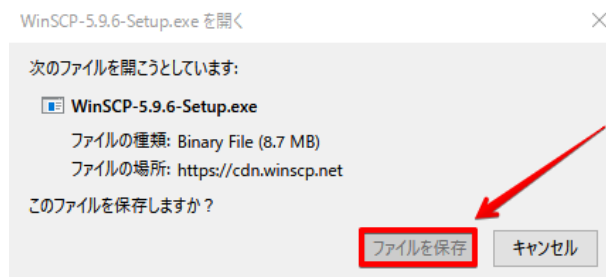
Download WinSCP

WinSCP 5.9.6

Installation package (8.7 MB; 944,153 downloads to date)
Portable executables (7.1 MB; 122,471 downloads to date)
.NET assembly / COM library (7.1 MB; 4,601 downloads to date)
Source code (11.8 MB; 2,831 downloads to date)

[\[Release Notes, Checksums\]](#) [\[What's New\]](#) [\[Release Notifications\]](#)

「Installation Package」を選択します。



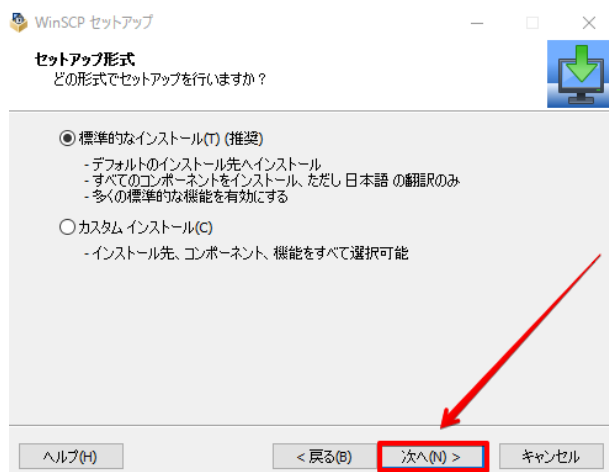
「ファイルを保存」をクリックします。
保存したファイルを実行します。



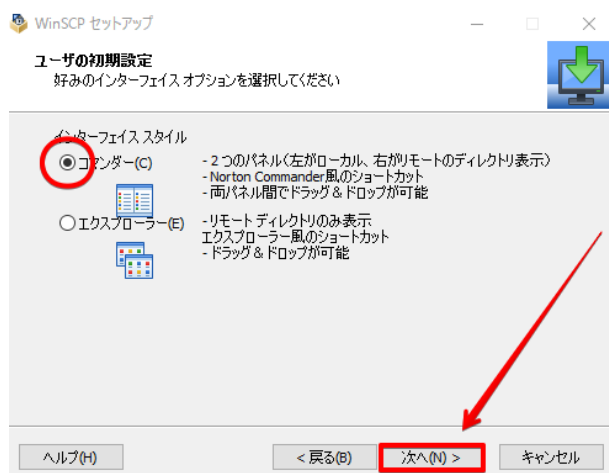
「はい」をクリックします。



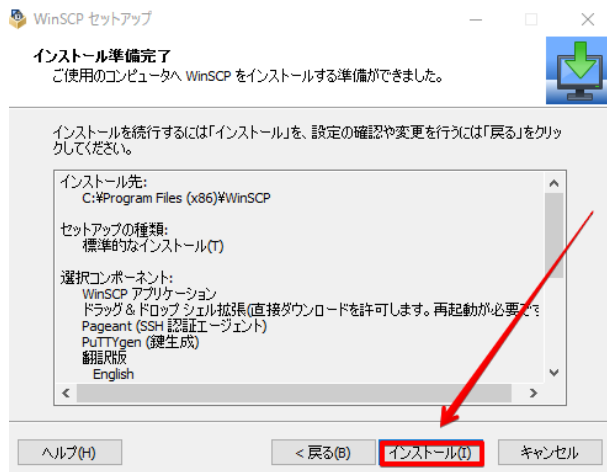
「許諾」をクリックします。



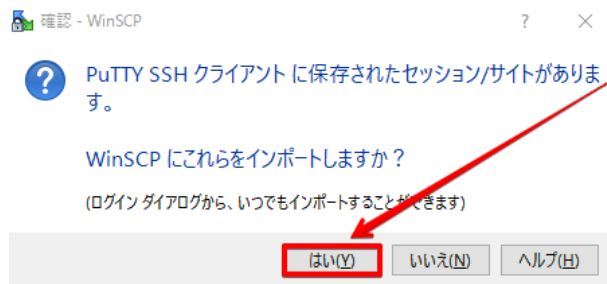
「標準的なインストール」を選択した状態で、「次へ」をクリックします。



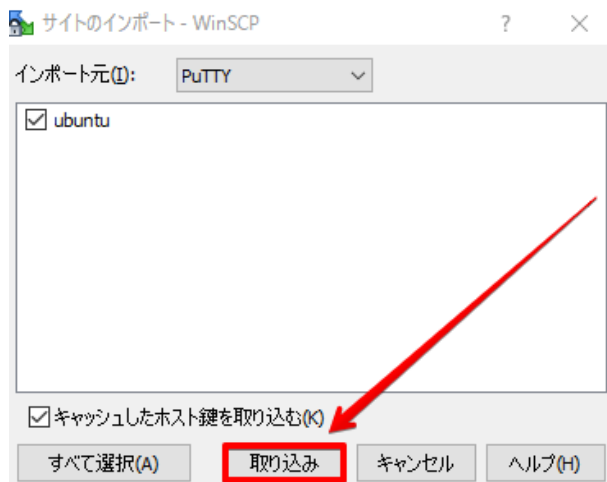
「コマンドー」を選択した状態で、「次へ」をクリックします。



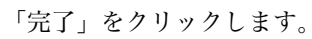
「インストール」をクリックします。



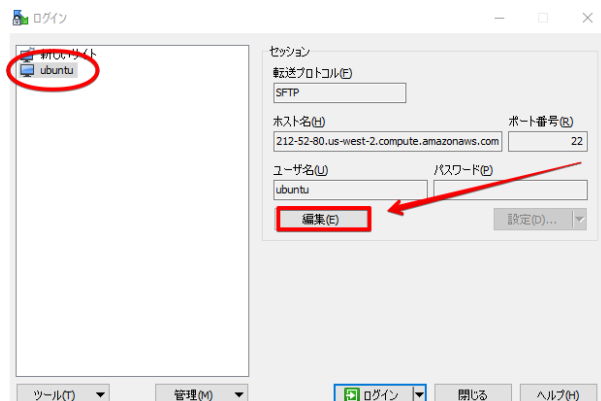
このダイアログが表示された場合には、「はい」をクリックします。



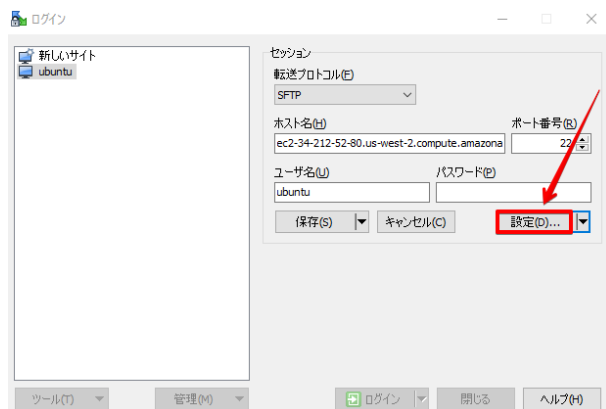
このダイアログが表示された場合には、「取込」をクリックします。



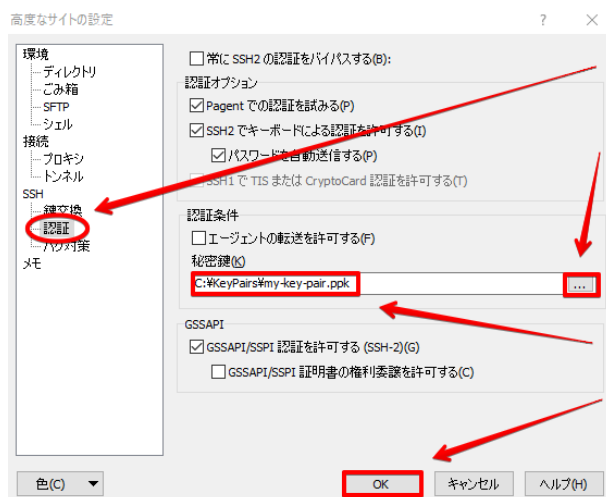
② 「WinScp」 をクリックします。



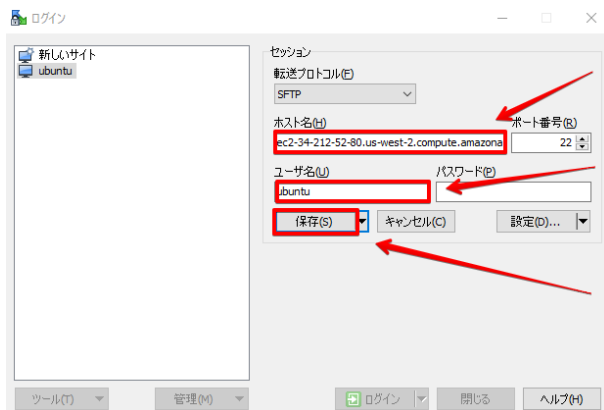
- ① 「ubuntu」を選択します。
- ② 「編集」をクリックします。



- 「設定」をクリックします。

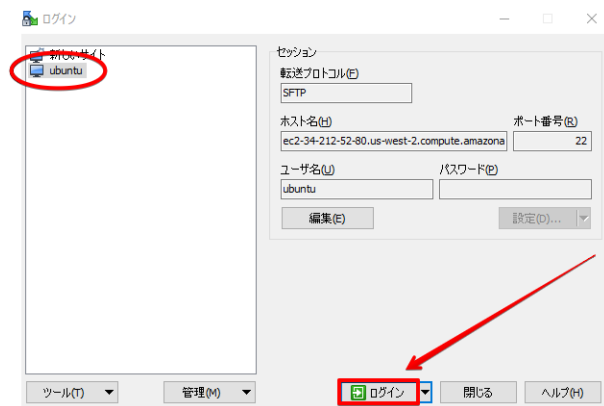


- ① SSH から「認証」をクリックします。
- ② 「...」をクリックして、ppk ファイルを選択します。
- ③ 秘密鍵に ppk ファイルのパスが設定されていることを確認します。
- ④ 「OK」をクリックします。

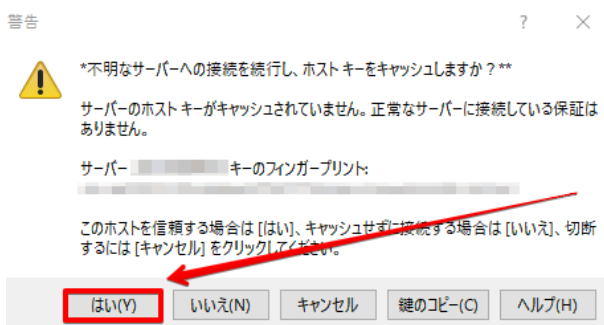


- ①「ホスト名」にパブリック DNS が設定されていることを確認します。
- ②「ユーザ名」を確認します。
- ③「保存」をクリックします。

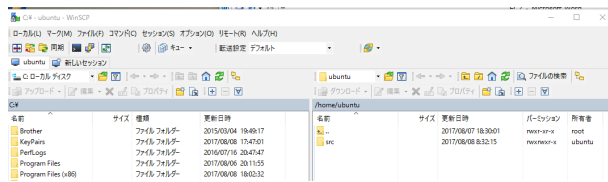
4.3 WinSCP によるサイトへの接続



- ①接続するサイトを確認します。
- ②「ログイン」をクリックします。



「はい」をクリックします。



サイトに接続しました

画面の左側にローカルのパソコン内のファイルが、右側にサーバ内のファイルが表示されます。対象となるファイルやディレクトリを選択し、「アップロード」「ダウンロード」ボタンを押すことにより、ファイルのアップロード・ダウンロードが可能です。
右上の閉じるマークを押して、WinSCP を終了します。

5 インスタンスの停止

GPU インスタンスの実行中は課金されます。利用が終わったら、必ずインスタンスを停止して下さい。



1. 停止するインスタンスを選択します。
2. 「アクション」メニューをクリックします。
3. 「インスタンスの状態」から「停止」を選択します。



「停止する」をクリックします。

インスタンスの作成 接続 アクション									
タグや属性によるフィルター、またはキーワードによる検索									
	Name	インスタンス ID	インスタンスタイプ	アベイラビリティゾーン	インスタンスの状態	ステータスチェック	アラームのステータス	パブリック DNS (IPv4)	IPv4
		i-0d10834409c4d818b	p2.xlarge	us-west-2c	stopping	なし	なし	ec2-54-68-90-46.us-we...	54.6
		i-0e2b44583707219...	t2.large	us-west-2c	stopped	なし	なし		-
		i-0f8c441fc7917baef	p2.xlarge	us-west-2a	stopped	なし	なし		-

インスタンスの状態が、「stopping」→「stopped」となることを確認して下さい。
もし、「running」のままの場合には、再度「アクション」メニューから「停止」を選択して下さい。

6 サインアウト

サービス

リソースグループ

インスタンスの作成

接続

アクション

タグや属性によるフィルター、またはキーワードによる検索

	Name	インスタンス ID	インスタンスタイプ	アベイラビリティゾーン	インスタンスの状態	ステータス
		i-0d10834409c4d818b	p2.xlarge	us-west-2c	stopped	
		i-0e2b44583707219...	t2.large	us-west-2c	stopped	
		i-0f8c441fc7917baef	p2.xlarge	us-west-2a	stopped	

アカウント

自分の組織

請求ダッシュボード

セキュリティ認証情報

サインアウト

パブリック DNS (IPv4)

右上のアカウント名を選択し、メニューから「サインアウト」を選択して下さい。